Rotary International 2023-2024	丸亀東ロータリークラブ
会長 **ゴードンR.マッキナリー**（ｽｺｯﾄﾗﾝﾄﾞ）	会長 **田中 誠** 幹事 **本間 愛典**
（テーマ） CREATE HOPE in the WORLD **世界に希望を生み出そう**	国際ロータリー第2670地区 ガバナー **吉岡 宏美**（徳島RC） (地区テーマ) **「挑戦しよう**（Challenge）**」**

2024年１月１１日(木) ※1月9日(火)例会変更※

2023-2024年度 第４９年度 第２５回 通算第2308回例会

【プログラム】**丸亀ロータリークラブとの合同新年例会**（親睦活動委員会）

【18:00～ 山北八幡神社にてお祓い】

【19:00～ 懐風亭にて合同新年例会】

両クラブ会長が一緒に点鐘

鏡割り♪エイエイオー♪

乾 杯

＊ご発声は丸亀RC･年長者の大熊様

(ﾚｸﾚｰｼｮﾝ) **宮本 真弓** 様 ☆坂出高校音楽科を経て愛知県立芸術大学音楽部声楽科ご卒業

小中学校の音楽講師を経てさまざまなジャンルの音楽に携わりながら現在はフリーで活躍中

【来訪ロータリアン】（１名）＊1月9日オークラホテル丸亀にてご記帳された方々です。

☮ 森高 克彦 様　（丸　亀 ＲＣ）

【メークアップ】（なし）

【出席報告】　第２３０８回例会　＜1月11日丸亀RCとの合同新年例会分＞

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出 席 率
４３名	２名	４１名	２２名	１９名	53.66%

第２３０６回例会　＜12月12日(火)例会分＞

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出 席 率
４３名	２名	４１名	２６名	１５名	63.41%

【１月１６日(火)例会プログラム】

役 員 委 員 長 半 期 報 告（役員・理事・各委員長）

【１月２３日(火)例会プログラム】

会 員 卓 話 （ 高橋 将三 新会員 **）**

MARUGAME EAST ROTARY CLUB	例会場　オークラホテル丸亀　☎23-2222 〒763-0011 丸亀市富士見町3丁目3番50号
事務所　オークラホテル丸亀430号室	TEL(0877)21-6611 ; FAX(0877)21-6655 E-mail ; merc@soleil.ocn.ne.jp

例会日　毎週火曜日　PM12:30～PM1:30　http://www.marugame-east-rc.com

2024-25年度テーマ **「ロータリーのマジック」**

ステファニー A. アーチック氏
マクマリー(McMurray) R C
（米国ペンシルバニア州）

ステファニー・アーチックRI会長エレクトは、ロータリーのマジックを強調します。ロータリー会員はプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびにマジック（魔法）を生み出しているとアーチック会長エレクトは述べます。

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「**The Magic of Rotary**」（ロータリーのマジック）を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。

1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです」

マクマーリー・ロータリークラブ（米国ペンシルバニア州）の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し現地のリーダーと力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。
安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和

会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。
トルコのイスタンブールにあるバチェシェヒシュ大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。
「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面し」ています。
自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。

「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。
地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）の原則を取り入れることであると述べました。

「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏「ＤＥＩを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」